

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会ニュースVOL.76

発行人 神奈川県知的障害者施設保護者会連合会会長 岩本邦雄
編集同上広報部会 HP: <http://w01.tp1.jp/~a368318200/>
発行所 同上事務局 〒235-0021 横浜市磯子区岡村3-15-14 岩本邦雄方
TEL & FAX 045-751-1010



全施連全国大会に参加して

10月18日～19日に福岡市で第12回全施連全国大会が開催され、神奈川県施保連から合計16名の方が出席しました。大会の概要は全施連ニュースで紹介されますので、ここでは参加者からの感想を中心に紹介いたします。

大会に参加して

紅梅家族の会

原田 靖子

早朝のフライトで福岡の地に立てた。博多は都会でした。時間にゆとりがあり、大濠公園を散策して会場に入った。「第12回全国大会福岡」の冊子20ページ～24ページに詳しく「あゆみ」を載せていたのは良かった。開会式のステージでの紹介者が多すぎた。小賀 久教授は講演も良く、シンポジウムも歯切れ良く仕切っていた。昨年の神奈川県での全国大会の司会をさせていただいた経験からは、神奈川県施保連のレ

ベルの高さ、神奈川県大会の素晴らしさを改めて感じた福岡大会でした。

初日、荷物をクロックに預ける時、「どちらですか？」

「神奈川県です」「ああ大変でしたね」、津久井やまゆり園の事件のことを言っているのだと思った。皆さん気にかけている。

来賓挨拶も何人かの方が触れられた。

2日目の最後に大月さんが合同慰霊祭をしめやかに執り行った事等、現状を涙ながらに話され、会場からは激励の拍手が広がり、良かったと思う。

大会終了後、福岡在住の義理の姉と昼食をとり、実家がある別府へ。20日両親の墓参

りをして、ホームに入所している叔母様を見舞い、大分空港に向かった。中身の濃い2泊3日だった。

全員参加型の 討論会について

恵和たちばな会

金子 晋一

高齢化・重度化に関して言えば、これに伴い支援の量の増大、困難性から支援の面において、職員の数の問題がある。それは、まず人数の問題と人材、いわゆる質の問題がある。質量ともに問題であるが、まず量の問題が第一位と考えます。

神奈川県としても現在、この高齢化・重度化に関してアンケートをまとめ、いかに支援の現場が少ない人員で苦勞しているか想像に値するものがあります。

まず、職員の増について検討していくべきと考えます。

神奈川県施保連の当面のスケジュール

研修会のお知らせ

テーマ：知的障害者と障害者権利条約(仮題)

講師：石渡 和実(東洋英和女学院大学教授)

・専門分野：障害者福祉論、人権論

日時：平成29年1月8日(日) 13:15～16:15

会場：横浜市社会福祉センター(8F会議室)

★詳細は追ってお知らせいたします。

平成29年度の 全施連全国大会

来年度の開催地は秋田市の秋田駅前の「秋田キャッスルホテル」で10月3日(火)～4日(水)に開催することに決定しました。各県連から20名の参加を希望するという要望がありました。

大会に参加して

思ったこと

ソイル栄 山本 武

神奈川県保連から岩本会長以下16名参加しました。会員のなかで、自費での大会に参加された方もおり、感動しました。今回の全国大会ではテールブルが非常に少なく、多く

の方が椅子だけであり、記録を取るのに苦労していた。小賀教授の基調講演で、提言IIの中で、障害を持つ人たちの高齢化や介護の問題で、提言が骨格だけに格だけでなく、真剣に取り組んで欲しいと思う。良い取組みをしたいと思っても、色々制約がある、思うようにできない、支援の不足（人的・専門性）、

人的力量の發揮できる状況ではないとの指摘には同感であると思いました。厚労省の菅洋一郎氏の講演は、3年後の見直し等については、現役の厚労省の方で説明して下さったことは、大変よかったです。本人（障害者）の立場にそつた法律を策定してくれ

第12回全国大会に参加して、今回の事件について皆さんが本当に心を痛めておられることを改めて感じました。特に全員参加型討論会で「息子が

話されたのを聞いたとき、会場の皆様に一言お話をせざるを得ないと思いました。そして、施保連の保護者会の皆様も同様の心配や不

家族の日常生活を守るため、翌日、私への報道対応を弁護士に委任させて頂きました。そのお蔭で、葬儀にも参列でき、制約なく行動でき

が一杯になりました。』と

安、悲しさに心を痛めておられることに思い至りました。事件に関して私からの情報発信が無い事にもご不審があつたらうと思ひます。大変申し訳ないとは思ひましたが、事件の重大性と

行なえました。全国の皆様からご心配をいただき、本当にありがとうございました。折を見て皆様に情報発信させて頂きたいと思ひます。

津久井やまゆり園事件について
あの日から全てが変わりました
みどり会会長 大月 和貴

の取りまとめ、提出も無事行なえました。10月16日には、多くのご遺族の参列のもとに、しめやかなお別れ会が

編集後記

今回の全国大会に参加し、厚生労働省から菅課長代理が2日間大会に参加され、全施連の活動内容を聞かれたことは大変有意義であった。また、厚生労働省との直のパイプができたこと、非常に良かったと感じました。

広報部会



障害を持つ人たちが病気になったとき、ケガをしたときに備えて

神奈川県保連では、知的障害児者や自閉症児者が病気やケガをしたとき、また、そのために入院したときなどに備え、「やまゆり知的障害児者生活サポート協会」の運営に参加しています。加入資格、その他の詳細は、下記までお問い合わせください。

やまゆり知的障害児者生活サポート協会

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内
TEL 045-314-7716 FAX 045-324-0426